

令和元年度事業報告に関する件

(平成31年4月1日から令和2年3月31日まで)

全 体 概 要

I 概 要

令和元年度は「平成」が終わり、新しい「令和」の時代がスタートする大きなターニングポイントであり、新しい時代を予感させ、誰もが祝意を持ってその到来を迎えたのである。

しかし、年度終盤のコロナウイルス感染症の拡大は、予想もつかない甚大な影響を、世界規模で与えた。その影響は令和2年度においても継続し、一旦終息後も、第2波、第3波の到来が指摘されている。

京都観光においても、元年度終盤から大きな影響を受けはじめ、その後、宿泊、販売、飲食等のどの分野においても、これまで経験したこともないほどの大きな減収、落ち込みとなった。

このコロナ禍は、2008年9月15日にアメリカの投資銀行リーマン・ブラザーズが経営破綻したことをきっかけに、世界的に起こった金融危機である、リーマンショックを超えるともいわれる状況にある。

こうした状況を踏まえ、コロナウイルス感染症の収束は今後不透明ではあるが、その影響を最小限にとどめるべく、情報収集に努め、MICE開催主催者等への必要な情報提供や、支援ツールの準備を図っていくなど、本財団としても、行政をはじめ関係各機関と連携して、MICE関連を中心として、できる限りの対策を講じているところである。

一方、令和元年度は、このように終盤は誠に厳しい財団運営であったが、元年度全体としては総じて、大きな成果を獲得できた年といっても過言ではない。

まず、国際会議の京都での開催件数は、これまでにない6年連続で過去最高を更新し、京都府全体で初めて400件の大台を突破し、国際統計(ICCА)においても近年にない世界で35位にまで、大きく躍進し、まさに記憶に残る年となった。

加えて、元年度は当財団が地元側事務局を担当する大規模な国際会議の開催が相次ぎ、9月には「国際博物館会議」、そして12月には「国連観光・文化京都会議2019」が国立京都国際会館で開催され、世界に向けて、京都のプレゼンスを大きく発信できたところである。

また、元年度は古典の日推進委員会が誕生して、節目の10周年を迎え、これまでの数多くの取組を高く評価いただき、栄えある「京都創造者大賞」の受賞を果たしたところである。

加えて、源氏物語研究の拠点である実践女子大学等との協力協定によるフォーラムを東京で開催し、古典の日全国展開の大きな一歩となった。

令和元年度はまさに、時代のターニングポイントとなり、本財団としても、多くの事業目的を結実、充実させることができ、同時に新たな企画へもチャレンジを行った、文化と観光の両分野での記念すべき年となった。

以下が令和元年度の重点施策別の取組状況の結果である。

Ⅱ 5つの重点施策別の取組状況

1 文化・観光クロスオーバーの推進

我が国で初めて京都で開催された「国際博物館会議」には、国内外からその名の通り多くの博物館関係者が集い、当初の想定を越える4,600人の方が参加された。

そして、本会議の開催にあたっては、京都府内の博物館・美術館等における様々な入館特典が府市民に対して提供されるなど、博物館・美術館等への関心が相当程度高まったと考えている。

そういう意味で、国際会議の開催がこれまでの都市格の向上や経済面への貢献に加えて、文化面に対しても寄与を行ったと言うことができ、誠に意義ある開催となった。

また、本文化・観光クロスオーバー事業のシンボル企画となる「文遊回廊」事業を継続して実施した。本事業は京都新聞社との共催事業として、古典を中心に、京都ゆかりの文学作品や文人、作家等をテーマとし、作品に登場する舞台や、文人等にちなむ地を広く紹介し、それらを巡ることのできるルートを策定していくものであり、原則、毎月第4木曜日、京都新聞紙上に連載を行った。

加えて、ユニークベニューの取組や、「お茶の京都」との連携、京都迎賓館記念品販売事業を通じた京都の伝統工芸品の普及など、文化と観光の両面から、積極的に事業展開を行った。

2 観光・MICE戦略の推進

令和元年度に京都市で開催された国際会議件数は6年連続で過去最高を更新し、京都府全体では400件の大台を突破した。

京都市域は過去最高の391件となり、国際統計であるICCAの発表によると、35位にまで上昇した。これまで40位代から50位代を推移し、平成26(2014)年に策定された「京都市MICE戦略2020」での挑戦的な数値目標であった35位を1年前倒して達成したところである。

世界中の都市や地域がMICEの重要性を認知し、その誘致を競う中、大幅な順位の上昇を果たしたところである。

引き続き、コロナ禍の中にあっても、京都においては安全で安心してMICEを開催していただくことができるよう、会議主催者の皆様の意向調査をはじめ様々な方策を点検・実行し、行政・関係各機関そして賛助会員の皆様と一致団結して、活動を強めていく。

加えて元年度においては、開催意義の多様性を示した「国際博物館会議」や、そして「国連観光・文化京都会議2019」では、持続可能な開発目標(SDGs)の視点に立つ「観光・文化京都宣言」が取りまとめられ、今後のMICE開催の方向性が示されたところである。

また、京都府ミニMICE誘致促進事業と連携し、広報パンフレットの作成をはじめ、MICEの効果を広く府域全体に波及していくことを目標に、鋭意取り組みを行った。

なお、準備を進めていた「国連犯罪防止・刑事司法会議(コングレス)」については、コロナ禍のため令和2年度に延期となり、引き続き、法務省・府・市・国立京都国際会館等と連携を図っていく。

3 国際観光と広域観光の連携推進

国際観光・インバウンド業務については平成 29 年度に京都市観光協会に移管し、その後、業務連携協定を締結し、引き続き本財団の賛助会員の皆様にはこれまでと同様の MICE 部門とインバウンド事業双方のサービスの提供に努めてきた。

しかしながら今般のコロナ禍の影響はこれまで経験したこともない規模であり、京都市観光協会としっかりと提携し、京都府、京都市の各種施策の実施協力、その他関係各機関とも連携し、積極的に感染症対策に取り組んでいるところである。

一方、元年度における広域観光では、9 月に開催された「国際博物館会議」において、北部の「伊根の舟屋」から南部の「和束町の茶畑」まで、府域に多くのエクスカージョンを企画し、たくさんの海外参加者が利用されたところである。

MICE を活用した、新たな府域への広域観光のモデルとして、今後の優れた好例となったと言っても過言ではない。

また、広域プロモーション事業として、京都府や「お茶の京都DMO」と連携し、宇治茶のプレミアムブランド化（高付加価値化）に取り組んだ。

10 月には、関西広域連合と連携して、フランスの観光事業者等に対して、パリのユネスコ本部で宇治茶の魅力を PR し、またパリ日本文化会館において宇治茶プレミアムウィーク企画展などの観光プロモーション事業を行った。

4 京都迎賓館への支援

平安建都 1200 年記念事業として、国が整備し、平成 17 年に完成、運営されている京都迎賓館について、引き続き京都府、京都市、京都商工会議所のオール京都で海外からの賓客に対する地元接遇などの支援を行った。

また、京都迎賓館についての理解を深めるシンポジウムを、名古屋市の愛知県産業労働センター（ウインク愛知）で開催し、中日新聞社の全面的な協力を得たことも有り、過去最高の 700 名の方に参加いただき、大変、好評を博したところである。

そして、一般公開の通年化に合わせて、平成 29 年から開始した迎賓館記念グッズの販売についても、新たに京都府産の竹を使い、上部に五七の桐紋を刻印した竹箸を作成した。

しかしながら、コロナウイルス感染症の拡大に伴い、本年 2 月末から、一般公開が一部制限され、その後は一般公開自体が休止となったため、3 月以降の販売が激減し、苦慮しているところである。

なお、本年 5 月 28 日から、一般公開が一部再開となった。

5 古典の日の全国展開

平成の天皇皇后両陛下ご臨席の下、平成 20 年 11 月 1 日開催の源氏物語千年紀式典において、初めて「古典の日」が宣言され、翌平成 21 年に「古典の日推進委員会」が発足し、令和元年度に、記念すべき創設 10 周年を迎えた。

この間、全国規模で「古典の日に関する法律」の制定に尽力するとともに、方丈記 800 年や琳派 400 年記念祭等について、京都府・京都市・京都商工会議所等と推進を図ってきた。

「古典の日推進委員会」の 10 年に渡るこうした活動に対して、9 月、「京都創造者大賞」の受賞という、栄に浴したところである。

そして元年度には、実践女子大学及び実践女子大学短期大学部と協力協定を締結し、11月、東京において、文化庁長官にもご出席をいただき、「古典の日」記念フォーラムを開催した。

加えて、日本各地の古典を愛好する団体、個人との間の活発な文化交流、情報交換の契機を提供し、古典活動の全国展開への一助とする「古典の広場アカデミア」の設立を行った。

また、「古典の日」を代表する新たな大型プロジェクトとして、日本の古典文化の研究・普及・啓発活動等に貢献した国内外の個人、法人、団体を顕彰する「古典の日文化基金賞」の創設を目指して、鋭意取り組みを始めた。

このように令和元年度は、「古典の日推進委員会」にとって節目となる10周年を、このような多彩な催事で迎えることができ、令和4年度を期して「国民文化祭」の主要な柱として古典の日関連事業が実施されることを目指し、文化庁と取り組みを進めてきているところであり、着実な進展を図ることが出来たといえる。

「古典の日」が京都においてはもとより、多彩な固有の古典文化を有する全国各地、各地方に大きく発展、展開していくための大きな一歩を踏み出した。

部 門 別 概 要

I 文化交流発信事業（公益目的事業）

1 古典の日推進事業

（1）「古典の日」普及・定着のための事業

古典の日推進委員会発足10周年を迎え、「古典の日」全国展開に向けて京都での「古典の日フォーラム」の開催に加え、連携協定を結んだ実践女子大学（東京）に於いてフォーラムを開催した。また当委員会が要とする「古典の日朗読コンテスト」は、美しい日本語を声に出して読むことを特に中学・高校生に推進し、10回を越えた今回、その成果が認められ、あらたに文部科学大臣賞が加えられた。

① 「古典の日 10周年記念フォーラム2019」

◇11月1日（金） 13時～16時10分 京都コンサートホール 大ホール

◇参加者 1610名

◇概要

- ・開幕演奏「J.S.バッハ『シンフォニア』二長調 BWV29 より」
高橋聖子（パイプオルガン奏者）
- ・古典の日宣言
野村虹乃（第10回古典の日朗読コンテスト【中学・高校生部門】大賞受賞者）
- ・主催者挨拶
千玄室（古典の日推進よびかけ人代表）
村田純一（古典の日推進委員会会長）
- ・来賓祝辞
伊吹文明（衆議院議員）
中岡司（文化庁次長）
- ・合唱「Doshisha College Song」「遥かな友に」「さくら さくら」「赤とんぼ」「梅雨の晴れ間」
同志社グリークラブ
- ・記念講演「古典と暮らす」
彬子女王殿下



・「語り芸の世界」

コーディネーター：木津川計（立命館大学名誉教授）

①筑前琵琶「那須與市」：田中旭泉、酒井旭粹、酒井自然（橘流 日本橘会）

②一調「高砂」：金剛龍謹（能楽金剛流若宗家）、曾和鼓堂（能楽小鼓方）

③浪曲「おさん茂兵衛」：春野恵子（浪曲師）、一風亭初月（曲師）

④落語「掛取り」：桂米團治（落語家）

※総合司会：小林千恵（NHK 京都放送局アナウンサー）



② 「第11回古典の日朗読コンテスト」

難しいといわれる古典文学の朗読は近年レベルが向上し、全国から400名を超えて応募いただいた作品から最終審査会に出場する方を選出するのは、年々審査委員の先生方の頭を悩ませるものとなってきた。第1次・2次審査を通過した中学・高校生部門から7名、一般部門から9名が最終審査会に出場した。コンテストの合間、シルヴァン・旭西・ギニャールさんによる迫力ある筑前琵琶「舟弁慶」の語りと星野祐美子さんの講演「朗読でつながるご縁 広がる世界」をお楽しみいただいた。（12月1日（日）京都府立京都学・歴彩館で開催）

また、本コンテストの【中学・高校生部門】大賞及び京都府高等学校文化連盟会長賞受賞者が、12月15日（日）全国高校生伝統文化フェスティバルで朗読を披露した。



左から「一般部門」大賞受賞者、最終審査会に残られた16名の皆さん、「中学・高校生部門」大賞受賞者

③ 「古典の日10周年記念フォーラム in 東京」

7年ぶりの東京での「古典の日フォーラム」開催となった。募集定員を超える受講のご応募いただいたことから、当初お願いしていた会場から規模を拡大し、750名の皆さんにご参加いただくことができ、心待ちにさせていただいていたことを実感するお声をいただいた。

◇11月19日（火）13時～16時5分 実践女子学園中学校高等学校「桃天館」

◇参加者 750名

◇概要

・「古典の日宣言」

伊東知穂（第8回古典の日朗読コンテスト【中学・高校生部門】大賞受賞者

・主催者挨拶 村田純一（古典の日推進委員会会長）

・来賓祝辞 宮田亮平（文化庁長官）

・記念講演 「五感でたのしむ『源氏物語』」

① 「源氏物語によせて～光の心情～」 東儀秀樹（雅楽師）

② 「王朝の香り」 畑正高（香老舗 松栄堂主人）

③ 「千年の色を紡ぐ」

吉岡更紗（「染司よしおか」六代目）



④ その他、古典の日の普及啓発事業の実施

・「街かど古典カフェ」Ⅰ・Ⅱ講座

一流の講師を囲み、趣のある空間で、古典をより深く、より掘り下げて学ぶ贅沢な連続講座を開催した。

Ⅰ. 「京の『美』を創る女性（ひと）たち」リレー講演会（連続5回シリーズ）

厳しい時代状況の中で、伝統文化を継承し、新たな生命を吹き込み、次代の文化を創造することに腐心する京の女性たちによる連続講座。「京都・和菓子の会」主宰者である中川典子さんが毎回、講師をイメージして創作する和菓子もお楽しみのひとつとなった。今年度も定員を上回る応募があり、松栄堂様にご協力賜り、2018年7月に新しくできたKARANI HALLで開催した。

◇6月15日、22日、7月6日、13日、20日 ※いずれも土曜日

◇13時30分～15時

◇香老舗 松栄堂 薫習館 KARANI HALL

◇概要（講師陣）

第1回 吉岡更紗（「染司よしおか」六代目）

第2回 諏訪蘇山（陶芸家四代目）

第3回 青山洋子（和菓子店西洋店主）×芳野綾子（すはま屋店主）

第4回 井上安寿子（「京舞井上流」次代後継者）

第5回 池坊専好（華道家元池坊次期家元）

コーディネーター：中川典子（株式会社千本銘木商会 専務取締役）



毎回、講演者をイメージした
誂え菓子でお楽しみいただき
ました。左は第1回「七変化」

II. 「へたなうたよみ きのつらゆき ー古今集に抱かれた日本人ー」

正岡子規から「貫之は下手な歌よみにて『古今集』はくだらぬ集」と全否定された紀貫之についていかに天才的な歌人・文人であったか、驚きと発見がいっぱいの小林一彦先生（京都産業大学文化学部教授）による4回に渡る講座を虎屋京都ギャラリーで開催した。

◇9月4日、11日、18日、25日

※いずれも水曜日

◇14時～15時30分

◇虎屋京都ギャラリー

◇概要

第1回「匠のわざー紀貫之は下手な歌詠みか」

第2回「ひらがなの申し子ーやまとことばの魅力」

第3回「女もしてみむとてするなりー『土佐日記』の驚くべき前衛」

第4回「日本の美意識をつくるー見立てと取り合わせー」



(2) 情報発信・広報活動等

- ・「古典の日」ホームページ

全国に向けた「古典の日」の発信と、「イベントカレンダー」に於いて、催し物等に関する情報の提供を行った。また、古典の日に関連する事業を実施する全国の自治体、図書館、文化会館等の団体、個人の情報ターミナルとなる「古典の広場」への会員登録のよびかけと、会員向けの特典となる「古典の広場アカデミア」を開校し、京都在住の古典に係る講師陣を全国の皆さんに紹介している。

- ・「古典の日絵巻」第8巻「わたしの源氏物語植物園」

『源氏物語』には梅・山吹・末摘花等驚くほどたくさんの植物が登場する。千年前、紫式部のするどい観察眼によって描きだされた植物は今も変わらず京都府立植物園に植栽、展示されている。紫式部が見た季節に合わせ

美しい花の写真と松谷茂先生（京都府立名誉園長）の私見から新しい発見がたくさんあった。

関連事業として、京都工芸美術大学の郡司桃子さんに各月に紹介する花と『源氏物語』をイメージするデザインを作成していただき、スタンプラリーを開催し、931通の応募が寄せられた。



・「京都創造者大賞2019」を受賞

古典の日推進委員会は京都の都市向上と文化発信に尽くしたとしてその活動が認められ「京都創造者大賞2019」を受賞した。

これからも古典の素晴らしさを全国の皆さんに伝えることを目的に、今後もその活動や取組を積極的に進めていく。



（3） 共催事業

古典の日朗読コンテストの第1回の受賞者から構成される朗読グループ「古都」は、当委員会と同様に発足10周年を迎える記念の朗読会となった。他に、有斐斎弘道館と「万葉集をテーマとした京菓子公募展」を実施。目で読む古典、耳から聞く古典、味覚で楽しむ古典。さまざまな楽しみ方で古典に親しんでいただく機会が増えることを目標に、今後も協力を進めていく。

（4） 共催、後援、ロゴ・シンボルマークの使用許可申請数（令和2年3月31日現在）

- ・共催：2件
- ・後援：35件
- ・ロゴ・シンボルマーク：15件

（5） 「古典の日」普及・推進活動及び広報活動等

ア ホームページ

- ・アクセス数：41,150件（平成31年4月1日～令和2年3月31日）

イ 関係機関広報ツール

- ・府民だより
- ・京都市民しんぶん
- ・宇治市政だより
- ・文化庁関西元気文化圏ホームページ（文化カプロジェクト）
- ・beyond2020

ウ 新聞掲載

◆掲載一覧

- ①朝日新聞 大阪本社版 朝刊半5段カラー 8月30日
- ②読売新聞 大阪本社版 朝刊TV面突き出しカラー 8月31日 9月23日
- ③京都新聞 夕刊半3段カラー 9月7日
- ④読売新聞 大阪本社版 夕刊エビス 9月13日
- ⑤読売新聞 大阪本社版 夕刊エビス 9月27日
- ⑥京都新聞 朝刊ミニコミプラザ1枠 10月1日
- ⑦読売新聞 大阪本社版 朝刊TV面突き出しカラー 11月1日

①

(祝) 十周年
11月1日 **古典の日**

古典をいまだ、古典に抱かれて

源氏物語千年を記念して平成24年「古典の日」に即する法律制定
「古典の日」十周年記念フォーラム2019

【記念事業】
①古典の日10周年記念フォーラム2019 11月1日
②古典の日10周年記念フォーラム2019 実践女子大学 渋谷キャンパス(11/19)
③フォーラム「古典の世界を語る2019」
第11回古典の日朗読コンテスト
京都府立京都学・歴史館(12/1)

※各事業につきましては事前応募が必要です。
詳しくは「古典の日」WEBサイトでご確認ください。
※応募締切(必着)①9月27日(金)③10月1日(火)
※応募料(必着)①②9月27日(金)③10月1日(火)
(※月々金/9時~17時)

お問い合わせ先
古典の日推進委員会
京都市下京区四条通室町東入函谷陣町78番地
京都経済センター3階
TEL.075-353-3060
(※月々金/9時~17時)
HP <http://www.kotenohi.jp>

◆古典の日10周年記念フォーラム2019
11月1日(金)13時~16時10分(受付12時)
会場 京都コンサートホール大ホール 定員 1577名 *本数学費の大半はご遠慮ください

◆プログラム
◆パイプオルガン演奏 高橋聖子(パイプオルガン奏者)
J.S.バッハ「シンフォニア」ニ長調 BWV29より

◆「古典の日宣言」
野村虹乃(第10回古典の日朗読コンテスト[中学・高校生部門]大賞受賞者)

◆合唱 同志社グリークラブ
「Doshisha College Song」「遙かな友に」「さくら さくら」「赤とんぼ」「梅雨の暗れ間」

◆記念講演「古典と暮らす」 杉子女王殿下

◆「語り芸の世界」
筑前琵琶「那須興市」 田中旭泉 酒井旭幹 酒井自然(横濱日本橋会)
一調「高砂」 金剛龍謙(能楽金剛流若宗家) 曾和鼓堂(能楽小鼓方)
浪曲「おさん茂平衛」 春野恵子(浪曲師) 一風亭初月(曲師)
落語「掛取り」 桂米岡治(落語家)
コーディネーター 木津川計(立命館大学名誉教授)

司会 小林千恵(NHK京都放送局アナウンサー) ※敬称略 ※プログラムは予告なしに変更する場合がございます

②

(祝) 十周年
11月1日 **古典の日**

古典をいまだ、古典に抱かれて

令和元年、「古典の日」推進委員会は発足10周年を迎えました。この間、平成24年には「古典の日」に関する法律が制定され、源氏物語千年にちなむ11月1日が正式に「古典の日」に定められました。

【記念事業】
①古典の日10周年記念フォーラム2019 京都コンサートホール(11/1)
②古典の日10周年記念フォーラム2019 実践女子大学 渋谷キャンパス(11/19)
③フォーラム「古典の世界を語る2019」第11回古典の日朗読コンテスト 京都府立京都学・歴史館(12/1)

※各事業につきましては事前応募が必要ですので、詳しくは「古典の日」WEBサイトでご確認ください。
※応募締切(必着)①9月27日(金)③10月1日(火)
※応募料(必着)①②9月27日(金)③10月1日(火)
(※月々金/9時~17時)

お問い合わせ先
古典の日推進委員会
京都市下京区四条通室町東入函谷陣町78番地
京都経済センター3階
TEL.075-353-3060
(※月々金/9時~17時)
HP <http://www.kotenohi.jp>

③

古典の日10周年記念フォーラム2019

日時 11月1日(金) 13時~16時10分 (受付12時)

会場 京都コンサートホール大ホール 定員 1577名 *本数学費の大半はご遠慮ください

プログラム

- ◆パイプオルガン演奏 高橋聖子(パイプオルガン奏者)
J.S.バッハ「シンフォニア」ニ長調 BWV29より
- ◆「古典の日宣言」
野村虹乃(第10回古典の日朗読コンテスト[中学・高校生部門]大賞受賞者)
- ◆合唱 同志社グリークラブ
「Doshisha College Song」「遙かな友に」「さくら さくら」「赤とんぼ」「梅雨の暗れ間」
- ◆記念講演「古典と暮らす」 杉子女王殿下
- ◆「語り芸の世界」
筑前琵琶「那須興市」 田中旭泉 酒井旭幹 酒井自然(横濱日本橋会)
一調「高砂」 金剛龍謙(能楽金剛流若宗家) 曾和鼓堂(能楽小鼓方)
浪曲「おさん茂平衛」 春野恵子(浪曲師) 一風亭初月(曲師)
落語「掛取り」 桂米岡治(落語家)
コーディネーター 木津川計(立命館大学名誉教授)

事前申込制 入場無料 (多数抽選)

【お問い合わせ】 古典の日推進委員会
京都市下京区四条通室町東入函谷陣町78番地
京都経済センター3階 〒600-8009
公益財団法人京都文化交流コンベンションビューロー内
TEL.075-353-3060 ※月~金9時~17時(土日祝は除く)
FAX.075-353-3055 古典の日 検索

応募方法 >>> 「古典の日」のWEBサイトでご確認ください。
応募締切 >>> 9月27日(金) 必着


◆掲載一覧

- ①朝日新聞 大阪本社版 朝刊半5段カラー 8月30日
- ②読売新聞 大阪本社版 朝刊TV面突き出しカラー 8月31日 9月23日
- ③京都新聞 夕刊半3段カラー 9月7日
- ④読売新聞 大阪本社版 夕刊エビス 9月13日
- ⑤読売新聞 大阪本社版 夕刊エビス 9月27日
- ⑥京都新聞 朝刊ミニコミプラザ1枠 10月1日
- ⑦読売新聞 大阪本社版 朝刊TV面突き出しカラー 11月1日

④

Special Topics 最新情報

11月1日は「古典の日」 10周年記念フォーラム開催



日本の古典であり、世界の古典である『源氏物語』の存在が、1008年(寛弘5年)11月1日の『紫式部日記』に初めて記録されたことを記念して、11月1日を「古典の日」とする法律が制定された。古典の日推進委員会は、「古典をいだき 古典に抱かれて」を合言葉に、古典の普及活動を続け、今年10周年の節目を迎えた。

■「古典の日10周年記念フォーラム2019」
 日時：11月1日(金) 13:00～16:10(開場12:00)
 会場：京都コンサートホール 大ホール(京都市左京区下鴨半木町)
 料金：無料(自由席)
 内容：同志社グリーンクラブによる男声合唱、梶子女王陛下下の記念講演、真前琵琶、能、流曲、演説と様々なジャンルのお話を披露。
 募集期間：9月27日(金) 必着

■フォーラム「古典の世界を読む2019」
 日時：12月1日(日) 13:00～15:55(開場12:00)
 会場：京都府立京都学・歴史館(京都市左京区下鴨半木町)
 料金：500円(自由席)
 募集期間：10月1日(火) 必着

※両フォーラムとも事前申込が必要。多数の場合は抽選。
 応募方法については「古典の日」で検索するか、電話でお問い合わせください。
 お問い合わせ：古典の日推進委員会
 075-953-3060(平日9:00～12:00/13:00～17:00)

⑤

Special Topics

カプチーノ 期間限定デザイン
「よーじやカフェ」で10月1日から提供開始



日本、ひいては世界の古典の『源氏物語』が1008年(寛弘5年)11月1日の『紫式部日記』に初めて記録されたことを記念し、11月1日を「古典の日」とする法律が2012年に定められた。古典の日推進委員会発足から10年の節目を機に、同委員会は「よーじやカフェ」と協力し、期間限定デザインの特製カプチーノ「わかむらさき」を提供する。

期間：10月1日(火)～11月17日(日)
 【特製メニュー】
 ・「わかむらさき」カプチーノ 582円(税込み640円)
 ・「わかむらさき」抹茶カプチーノ 628円(税込み690円)

【提供場所】
 ・よーじやカフェ 祇園店(京都市東山区祇園町北側266 井澤ビル2階、10:00～20:00)
 ・よーじやカフェ 嵯峨野嵐山店(京都市右京区嵯峨天龍寺立石町2-13、10:00～18:00)

お問い合わせ：古典の日推進委員会 075-953-3060(平日9:00～12:00/13:00～17:00)
 〒600-8009 京都市下京区四條通室町東入函谷鉾町78 京都経済センター 3階

⑥

カプチーノ 期間限定デザイン
よーじやカフェで10月1日より提供開始



日本の古典であり、世界の古典である『源氏物語』の存在が、1008年(寛弘5年)11月1日の『紫式部日記』に初めて記録されたことを記念して、11月1日を「古典の日」とする法律が制定されました。

今年10周年の節目を迎えた「古典の日推進委員会」と「よーじやカフェ」がコラボした期間限定デザイン「わかむらさき」をぜひご賞味下さい。

【期 間】10月1日(火)～11月17日(日)まで
 【内 容】「わかむらさき」カプチーノ
 ¥582(税込¥640)
 「わかむらさき」抹茶カプチーノ
 ¥628円(税込¥690)

【店 舗】よーじやカフェ 祇園店
 【住 所】京都市東山区祇園町北側266番地 井澤ビル2F
 【営業時間】10時～20時

【店 舗】よーじやカフェ 嵯峨野嵐山店
 【住 所】京都市右京区嵯峨天龍寺立石町2-13
 【営業時間】10時～18時

お問い合わせ
 古典の日推進委員会
 075-953-3060(平日9:00～12:00/13:00～17:00)
 〒600-8009 京都市下京区四條通室町東入函谷鉾町78番地
 京都経済センター3階

⑦

Classics Day

11月1日は
古典をいだき
古典に抱かれて

古典の日



平成24年9月5日に
「古典の日に関する法律」が
公布・施行されました。

2 京都迎賓館支援事業

(1) 京都迎賓館でもてなした外国賓客（計6件）

- ① コロンビア共和国下院議長一行（5月27日～28日）
- ② クロアチア共和国議会議長一行（6月6日～8日）
- ③ コソボ共和国 ハシム・サチ大統領一行（9月10日～11日）※
- ④ ナイジェリア連邦共和国下院議長一行（11月9日～10日）
- ⑤ ヨルダン王国下院議長一行（11月20日～21日）
- ⑥ 第4回国連世界観光機関／ユネスコ観光と文化をテーマとした国際会議
関係者歓迎夕食会（12月12日）※

※地元・京都が主催した接遇

<これまでの接遇件数>

年 度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R 1
接遇件数	10	10	12	5	7	9	13	11	8	6

(2) 京都迎賓館シンポジウムの開催

開催日：令和元年9月26日（木）

会 場：名古屋・ウインクあいち
（名古屋市中村区名駅4丁目4-38）

参加者：700名

概 要：

◇文化披露

芸舞妓による舞踊披露（京都・上七軒歌舞会）

◇基調講演

テーマ：「京都迎賓館～和のおもてなしとは～」

講 師：安藤昌弘（元内閣府迎賓館館長）

◇パネルディスカッション

テーマ：「京都にいきるおもてなしの技とこころ 世界へ」

コーディネーター：安藤昌弘（元内閣府迎賓館館長）

パネリスト：高橋英一（京料理「瓢亭」14代目当主）

桑原仙溪（京都いけばな協会会長、桑原専慶流十五世家元）

明石文雄（川島織物セルコン 生産部 技術顧問）



(3) もてなし・しつらいプロデュース事業

京都迎賓館における賓客接遇等の際、しつらいの一つとして活用するいけばな文化の継承・発展のためいけばな協会への支援を行った。また、迎賓館の賓客接遇に際して、京都府京都文化博物館、京都市美術館、京都府立堂本印象美術館等のご協力により、地元美術工芸品の借用を行った。

(4) 京都迎賓館一般公開への支援事業

①期間（一般公開）：平成31年4月1日（月）～令和2年3月29日（日）

※接遇に支障のない範囲で公開

②支援事業：

- 京都迎賓館一般公開にかかる PR チラシ（A4）を制作し、観光案内所や交通機関にて掲示及び配布した。

チラシ：32,000部（内 英語版8,000部）

- 京都観光・文化情報コーナーを設置し、府、市、商工会議所等の資料を配布した。

(5) 特別企画「京都迎賓館文化サロン」への企画協力

京都迎賓館を会場に、日本の歴史・文化に関するテーマ毎に京都迎賓館にゆかりのある講師による講演及びプレミアムなガイドツアーを体験できる特別企画「京都迎賓館文化サロン」への企画協力を行った。

①第3回「現代和風建築」

開催日：令和元年7月9日（火）

参加者：102名

概要：

- ◇京都迎賓館設計者の1人である佐藤義信による講演
- ◇京都迎賓館を建設した職人等による館内ガイドツアー

②第4回「生け花」

開催日：令和元年9月17日（火）

参加者：180名

概要：

- ◇都末生流家元・大津光章による講演及び生け花のデモンストレーション
- ◇「正面玄関」にしつらえた生け花の解説、通常非公開の「水明の間」を含めた館内ガイドツアー

③第5回「人形と京都」

開催日：令和2年2月27日（木）

参加者：180名

概要：

- ◇人間国宝の人形作家・林駒夫による講演
- ◇通常非公開の「水明の間」を含めた館内ガイドツアー

3 京都創生推進フォーラム事業

京都市からの委託を受け「京都創生（歴史都市・京都の魅力に磨きをかけ、世界へ発信していく取組）」の意義を周知するため、次の事業を実施した。

(1) 運営委員会・連絡会の開催

①運営委員会

日時：平成31年4月26日（金） 午後2時～3時30分

場所：京都経済センター7階 京都商工会議所 特別会議室

議事：平成30年度の活動について（報告）

令和元年度の活動について（提案）

各運営団体の京都創生に関する取組について（情報交換）

②連絡会

日 時：令和元年7月19日（金）午後1時30分～2時10分

場 所：京都経済センター7階 京都商工会議所 ミーティングルーム

議 事：7月25日シンポジウムの運営について

（2）シンポジウム「京都創生推進フォーラム」の開催

日 時：令和元年7月25日（木）午後1時30分～4時

会 場：ロームシアター京都 サウスホール

参加者：520人

内 容：

◇オープニング

落語「はてなの茶碗」：桂 二乗（落語家）

◇総会

挨拶：立石義雄（フォーラム代表・京都商工会議所会頭）
門川大作（京都市長）

◇パネルディスカッション

「京都の祭りから考える文化、観光、経済の循環」

・コーディネーター

宗田好史（京都府立大学副学長）

・パネリスト

稲岡亜里子（本家尾張屋 16代目当主、写真家）

田中安比呂（賀茂別雷神社（上賀茂神社）宮司）

濱崎加奈子（公益財団法人有斐斎弘道館代表理事・館長）

三木忠一（文化庁地域文化創生本部事務局長）



（3）京都創生のPR

①京都創生PRポスター「日本に、京都があってよかった。」

発行時期：第33弾 令和元年11月7日発行

第34弾 令和2年3月18日発行

仕 様：B1判・B2判・B3判・B3ワイド判（地下鉄用）

発行部数：第33弾5,000部、第34弾5,000部

配布先：全ての市バス・地下鉄の車両、地下鉄全駅、市内の私鉄駅、

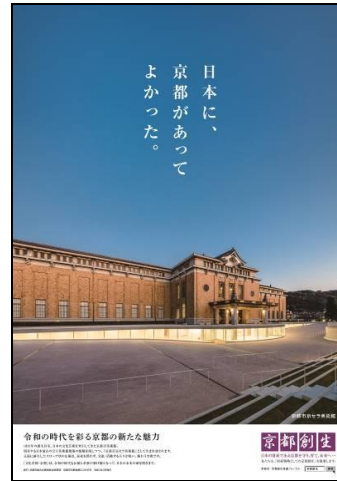
市内金融機関、市内郵便局、市関連施設、市内ホテル、

市内の大学構内、首都圏の旅行代理店、京都に修学旅行を

予定する全国の小中学校・高校、「京あるき in 東京」の参画企業店舗など



第 3 3 弾(京都の隠れた名所)



第 3 4 弾(令和の時代を彩る京都の新たな魅力)

②広報誌「京都創生」第21号

発行時期：令和2年1月発行

仕 様：A4版4頁

発行部数：7,000部

配布先：京都創生推進フォーラム会員、京都府及び京都市関係機関、運営団体等

(4)「京都ブランドフォーラム in 東京」の開催

日 時：令和2年2月8日(土)13時30分～15時30分

会 場：リーガロイヤルホテル東京 ロイヤルホールI(3F)

参加者：200人

主 催：京都ブランド推進連絡協議会
(府・市・京都商工会議所)

共 催：公益社団法人京都市観光協会
京都創生推進フォーラム

内 容：

◇芸舞妓による舞の披露

◇主催者挨拶

京都ブランド推進連絡協議会 会長 齋藤茂
京都市長 門川大作

◇パネルディスカッション

「インバウンド時代に地域ブランドを守る。～ブランド発信との両立～」

・コーディネーター

竹内弘一(KBS京都アナウンサー兼記者)

・パネリスト

茅野雅弘(上野観光連盟事務総長)

竹沢えり子((-社)銀座通連合会・全銀座会事務局長、銀座街づくり会議・銀座デザイン協議会事務局長)

小野雅世(綿善旅館若おかみ)

デブナール・ミロシュ(龍谷大学国際学部・国際文化学科講師)



(5) 京都創生PR事業「京あるき in 東京2020」

京都市、京都商工会議所、京都市観光協会とともに、10回目となる「京あるき in 東京」を実施した。

総合テーマ：京まなび～知ると日本がもっと好きになる～

概要：京都ゆかりの企業・大学・団体の参画のもと、首都圏で京都の魅力を発信する催しを集中的に実施

期間：令和2年2月8日（土）～3月15日（日）

事業数：97（前回：105）

参画団体数：244（前回：250）

[京都創生推進フォーラムの活動内容]

- ・「京都ブランドフォーラム in 東京」の開催（再掲）
- ・PRポスター「日本に、京都があってよかった。」の掲出

(6) 京都創生推進フォーラムホームページ

- ・各会員の活動情報を掲載
 - ・新規会員の登録
 - ・トピックスはシンポジウム等の情報や、今後の開催案内を掲載
 - ・広報誌やポスター等の広報物を紹介
- ※令和元年度年間ホームページアクセス件数 52,602件

(7) 京都創生推進フォーラム会員管理

- ・会員数 862件（内訳 企業・団体409、個人453）

4 文遊回廊事業

株式会社京都新聞社と共催し、文化と観光をクロスオーバーした、京都を舞台とした文学作品ゆかりの地を巡る「文遊回廊」（紙面掲載）を実施。

2017年10月～2020年3月（原則、月1回・毎月第4木曜日掲載）

5 情報紙「四季彩京都」の発行

- ・発行回数：年2回
- ・部数：春・夏号 67,000部
秋・冬号 67,000部
- ・内容：社寺・文化財特別公開情報、京都観光案内地図

II 国際観光コンベンション事業（公益目的事業）

1 コンベンション（MICE）事業

（1）プロモーション事業

欧州で開催される2つのMICE専門見本市であるIMEXとIBTMに、3年連続となる京都の単独ブースを設け、京都の事業者と出展した。また、2018年ICCA世界ランキングで欧州1位であるドイツを海外拠点として、学会本部や国際PCOのドイツ支店、日本に支店のあるドイツ企業に対して、セールスコールを行った。

(7) [IMEX Frankfurt 2019出展]

（2019年5月21日～23日 ドイツ・フランクフルト）

※【京都ブース共同出展者(順不同)】

グランドプリンスホテル京都、京都ホテルオークラ、京都東急ホテル
ウェスティン都ホテル京都、ホテルグランヴィア京都、JTB西日本MICE事業部、
国立京都国際会館

(1) [IBTM World 2019出展]

（2019年11月19日～21日 スペイン・バルセロナ）

※【京都ブース共同出展者(順不同)】

グランドプリンスホテル京都、
京都ホテルオークラ、京都東急ホテル、
京阪ホテルズ&リゾート、
JTB西日本MICE事業部、国立京都国際会館



（2）開催支援事業

① 政府関連特定会議等の京都開催への運営協力

[第16回科学技術と人類の未来に関する国際フォーラム(STSフォーラム)]

公開シンポジウム 2019年10月5日 京都府立総合社会福祉会館

歓迎レセプション 2019年10月7日 建仁寺

京都エクスカーション 2019年10月7日 22名参加

※エクスカーションにおいては、西陣織会館と連携し、同伴者向けメニューとして、伝統産業体験(西陣織手織り体験)の機会を提供。また、「京都市ビジターズホスト」を活用し、「京都品質」の通訳サービスを提供した。

② 京都スマートシティエキスポ2019、2020への運営協力

けいはんなオープンイノベーションセンター(KICK)等において、2019年10月に開催された京都スマートシティエキスポ2019、及び2020年10月開催予定の京都スマートシティエキスポ2020について、準備委員会や運営協議会、事業者選定会議など積極的に京都府担当課と連携するとともに、助成金支出等の開催後方支援を行った。

③ オール京都体制で誘致した会議の開催支援

昨年 9 月に開催された「国際博物館会議 (ICOM)」が目標を大きく上回る大会史上過去最高の 4, 590 人の参加者を迎え、盛況のうちに閉会。12 月に開催された「国連世界観光機関 / ユネスコ 観光と文化をテーマにした国際会議」では、「京都宣言」が採択され、京都からの国際的な指針を世界に向けて発信することができた。これらの会議において地元支援組織の事務局を当財団が担い、誘致活動から当日運営に至るまで様々な支援を実施した。

なお、本年 4 月に開催が予定されていた「国連犯罪防止刑事司法会議 (京都コンgres)」については、開催準備の支援や地元開催機運の醸成に取り組んできたが、新型コロナウイルス感染症の世界的流行のため主催者 (国連薬物・犯罪事務所) の決定により延期となった。時期再確定後、改めて支援を行っていく。

④ MI 案件・展示会 (E) の開催支援

京都の都市格に相応しい国内外の大手企業が主催するミーティング (M)、インセンティブ (I) の京都開催を支援した。11 月 11 日~12 日、公益財団法人国際交通安全学会 (IATSS フォーラム) の ASEAN 各国の国際委員長 11 名がエクスカーションのため入洛。行程について、京都の伝統文化が体験・学習できる特別な内容との相談を受け、伏見の酒蔵の見学、西本願寺の特別拝観や改元にちなみ皇室と京都のゆかりを紹介、西陣の有職料理店で皇室の御大礼おもてなし京料理を再現し堪能いただいた。



また、海外ファッションブランドのワークショップを国の登録有形文化財に指定された御室地区の邸宅で開催いただき、老舗京菓子店の女将が京菓子の文化と五感についてワークショップのテーマに沿って講義、参加者各自で和菓子を作り各自の作品を觀賞するチームビルディングが行われた。

いずれも、主催者の意向に沿った内容を提案し採択されたもので、参加者の満足度を上げ、且つ京都の文化財の保全や継承とともに郊外への観光客の分散化に寄与する案件となった。

⑤ オフサイト・レセプション等の企画・提案

開催地ならではのユニークな施設・会場 (オフサイト・レセプション) の企画・提案を積極的に行った。また、(公社)京都市観光協会と連携し、共同でユニーク・ベニュー開発に取り組むことによって新たな施設との連携が強化された。

⑥ 京都府ミニ MICE 誘致促進のための営業ツール作成 (京都府委託事業)

京都府は府域の様々な地域で受入可能な小規模な国際会議等をミニ MICE と位置づけ、誘致を進めている。当財団は、施設ガイドやユニークベニューガイドなど各種 MICE 関連冊子の制作ノウハウがあることから、ミニ MICE 誘致に必要な会場や宿泊施設等を紹介する営業ツール作成業務を府から受託し、冊子を制作した。

(3) 各種会議支援サービス制度の運用状況等

① 助成金

(ア) 京都市大規模国際コンベンション開催支援助成金の活用

[申請案件(2019年度申請(認定)分)]

会議名	参加者	開催予定年度	認定額 (万円)
第25回国際サイコオンコロジー学会学術大会	800人	2020年度	200
第4回脳刺激学会議	900人	2020年度	250
第12回国際アジア研究会議	2,000人	2021年度	300
ウッドライズ2021日本大会	1,000人	2021年度	300
第22回IUPAC有機合成指向有機金属化学 国際会議	1,000人	2023年度	300
第27回国際昆虫学会議	3,000人	2024年度	400

[2019年度交付案件]

会議名	参加者	開催年	交付額 (万円)
第46回国際腰椎学会	578人	2019年	188
第17回日本臨床腫瘍学会学術集会	7,665人	2019年	250
第5回世界パーキンソン病学会	2,777人	2019年	500
第27回国際複素環化学会議	821人	2019年	200
国際博物館会議 京都大会 2019	4,590人	2019年	300
シリコンカーバイド及び関連材料に関する国 際会議 2019	896人	2019年	300

(イ) 京都市大規模国際コンベンション誘致支援助成金の活用

2019年度 申請・交付案件 該当無し

(ロ) 京都市中・小規模 MICE 開催支援助成金の活用

利用件数：27件 支援金額：4,057,764円

(ハ) 京都市「京都らしい MICE 開催支援補助制度」の活用

利用件数：43件（うち伝統産業製品14件(文化プロダムとの併用9件を含む)）
支援金額：10,819,394円（うち伝統産業製品支援：4,163,173円）

(ニ) MICE 向け京都伝統産業製品貸出制度の活用

利用件数：8件

(ホ) 京都府「京都府 MICE 開催支援助成制度」の活用

利用件数：12件

（うちコンベンション支援7件、分科会支援1件、エクスカージョン支援4件）
支援金額：2,759,978円

② その他の支援サービス

(ア) 京都コンベンション・パス(地下鉄・市バス特別乗車券)の発行

利用件数：6件 発行金額：25,677,000円

(イ) 京都イメージバンクの活用

利用件数：82件

(ロ) 公開シンポジウム等広報支援制度

利用件数：4件

(ハ) 京都開催 PR 用バナー貸出制度

利用件数：5件

(ニ) プロモーション DVD の貸出・提供

利用件数：1件

(ホ) 京都市 MICE デスティネーション PR 映像の貸出・提供

利用件数：5件

※利用規定上は 2019 年 3 月末までだが、例外的に貸与。

(ヘ) 京都ストックフッテージライブラリ映像の貸出・提供 (2019.5 より開始)

利用件数：21件

(ニ) 各種広報印刷物等の提供

利用件数：88件

京都観光案内地図(日英併記) ほか

(4) 広報宣伝事業

① メールマガジン(京都観光 MICE ニュースレター)の発行

当財団賛助会員や京都市観光協会会員に加え、商談会、視察、問合せ等で接触する国内外のミーティングプランナー、MICE 主催者に対し、定期的に京都の観光 MICE 関連情報を発信することにより、京都での MICE 開催を意識させ、京都への MICE 誘致促進につなげるためメールマガジンの配信を実施した。

② ホームページによる京都における MICE 関連情報の発信

国内外の MICE 主催者・参加者に対し、MICE 開催都市「京都」の情報発信を行うため、世界中の国際会議や国際学会の主催者や事業者、加えて京都市内の大学関係者の皆様の利便性向上を図った。

(5) MICE 関連情報の調査・収集・検討

① 情報の収集

観光庁、日本政府観光局(JNTO)、日本コンGRESS・コンベンション・ビューロー(JCCB)、ICCA (International Congress and Convention Association 国際会議協会)をはじめ関係団体との積極的な交流を図り、MICE 関連情報の収集に努めた。また各種の海外見本市への参加等を通じて国際的な MICE プレーヤーとのネットワーク強化と情報収集を図った。

② 環境に配慮した MICE 都市の世界的取組への参画

環境にやさしい国際会議の開催を目指して、コンベンションや見本市に関する国際的機関が立ち上げた組織である GDS Index(Global Destination Sustainability Index)に、2016年7月にアジアで初めて参画し、「環境に配慮した持続可能な MICE 都市」としての位置付けの強化に努めている。そうした取組から、同組織加盟都市から開催地を選ぶ MICE の誘致も成功している。

③ 京都大学との協力による国際会議推進

「京都市と京都大学との国際学術都市としての魅力向上に関する連携協定書」(2015年8月締結)に基づき、京都大学と国際会議の推進に関する協議等を継続して実施している。また、各学部の教授会や、研究支援組織の会合等、様々な機会を捉えて、支援施策の PR を行うとともに情報収集に努めている。

④ 京都府警との連携

府警本部警備部と当財団の間で2015年3月に締結した「京都をテロから守る連携協定」に基づき、安心して参加できる国際会議都市・京都のステイタスを維持するため情報交換・情報発信を継続して実施している。

⑤ 統計調査・発行

国際会議統計「2018 京都開催の国際会議」発行

2 国際観光事業（京都市観光協会との協働事業）

(1) 海外情報拠点管理運営事業（京都市委託事業）

世界11都市（ニューヨーク、ロンドン、パリ、フランクフルト、シドニー、上海、台北、ソウル、香港、クアラルンプール、ドバイ）に新たに3都市（ロサンゼルス、マドリッド、ローマ/トリノ）を加えた14都市において情報拠点（レップ窓口）を設置し、現地の旅行動向等の情報を収集するとともに、マーケティングに基づいた京都観光の PR 活動等を実施。また、拠点担当者が一堂に会する「京都市海外情報拠点 市場説明会・パネルディスカッション」を2019年6月に開催し、会員企業等に対し、現地の最新情報を提供した。



(2) 海外富裕層市場への取組事業

「日本ラグジュアリートラベルアライアンス」(構成：札幌市、石川県、京都府、京都市、和歌山県)事業として、各自治体と連携したプロモーションを展開。また、ATM(ドバイ)、ILTM Asia pacific(シンガポール)、ILTM Cannes等の富裕層旅行商談会へ出展等を通じ、欧米のラグジュアリー市場における日本・京都の認知拡大、観光事業者の市場参入プラットフォームの整備を促進することで、京都来訪の動機付けを向上させ、観光消費の一層の拡大を図った。

(3) 京都市域内統計収集・分析強化

京都市域の58ホテルの協力を得て、国・地域別の宿泊状況調査を毎月実施し、データ月報として発表した。世界最大のホテルデータサービス提供会社、STRとの連携のもと、客室平均単価(ADR)等の情報を国内外主要都市と比較するなどの情報分析を行った。

(4) ウェブサイトの運用事業(京都市補助事業)

外国人観光客向けに13言語で情報発信しているウェブサイト「Kyoto City Official Travel Guide」について、全面的にサイト構造やデザインの見直しによるリニューアルを実施した。

(5) ソーシャルネットワークの運用事業(京都市補助事業)

英語 Facebook「Visit Kyoto」ページを活用し、引き続きタイムリーな情報発信を行うとともに、中国のSNS、Weibo(ウェイボー)の京都観光公式アカウントにおいて、最新の京都観光情報やマナー啓発等の発信を行った。

(6) 海外メディア取材誘致・露出強化事業(京都市委託事業)

海外有カメディア(雑誌、テレビ、ウェブサイト等)の取材誘致受入を推進し、メディアへの効果的な露出を通じ、京都ブランドの一層の向上を図った。実施にあたっては、日本政府観光局(JNTO)、航空会社等と積極的な連携を図り、マーケット及び費用対効果を意識したPR活動を展開した。特に、観光客の集中緩和につなげるべく、夏冬等の閑散期の魅力拡大を推進するとともに、まだ認知されていない観光魅力を発信した。(支援件数：47件)

(7) 国内外における旅行博・商談会・セールスコール事業

国内外で開催される旅行商談会に出展を行い、デスティネーションとしての京都のPRを行うとともに、多くの顧客を有する海外の有力旅行会社関係者と市内の旅行事業者等とのマッチング機会の創出を行うなど、海外から京都への旅行商品造成の一層の拡充を図った。

2019年 7月

JAPAN EXPO(フランス、パリ)

2019年 10月

VISIT JAPAN トラベルマート(大阪)

2019年 11月

WTM(英国、ロンドン)

(8) 外国人観光客向け多言語コールセンター運営事業

外国人観光客の満足度向上とセーフティネットの構築等を目的に、24 時間年中無休の多言語コールセンターを運営し、宿泊施設を対象に 5 言語による電話通訳サービスを提供した（京都府、京都市、滋賀県、大津市、奈良市との共同事業）。また、VoiceTra4U 等の ICT による通訳機能の積極的活用を図った。

(9) 免税対応支援事業（京都市補助事業）

多言語コールセンターによる電話通訳サービスの提供やセミナーの開催、メルマガの配信など、多岐にわたる免税店支援事業を継続展開するとともに、ウェブサイトにおける免税店情報の発信を強化した。

＜京都市内の免税店数＞

2014 年 4 月現在 178 件（支援開始時点）

2019 年 4 月現在 1,624 件（約 9 倍増）

(10) 京都市認定通訳ガイド育成事業（京都市委託事業）

京都観光の専門知識を身に付け、外国語で京都の奥深い魅力を伝えることができる京都市独自の通訳ガイド「京都市ビジターズホスト」第 4 期生の育成事業を実施した（認定ガイド数 第 1 期生～第 4 期生 計 202 名）。



(11) ガイドツアー造成事業（京都市補助事業）

京都市ビジターズホストを活用し、京都迎賓館や二条城、京都御所周辺や東山界隈において、文化財や伝統産業、商店街と観光を結びつけるガイドツアーを運用した。

(12) 外国語研修実施事業（京都市補助事業）

飲食店や宿泊施設、小売店、伝統産業店舗等の従事者を対象に、初心者向け外国語研修を実施した（参加型研修 15 回／119 名、出張型研修 33 回／612 名）

(13) 買物環境整備支援事業（京都市補助事業）

免税相談窓口や多言語コールセンターの運用など、免税店支援を行うとともに、大手クレジットカード会社「ビザ・ワールドワイド・ジャパン」と連携し、アクセプトスマークの掲出強化を図った。

(14) 外国人観光客受入環境整備助成金交付事業（京都市補助事業）

インバウンドの受入に前向きな事業者に対する助成制度を創設し、市内事業者がクレジットカード決済や免税販売、多言語メニュー整備などを行う際の経費に対し、助成金を交付した。

- 助成対象者 観光施設、宿泊施設、飲食店、小売店、医療機関、美容院・美容院、銭湯、商店街、交通機関、寺院・神社、美術館・博物館、その他
- 助成対象事業 キャッシュレス対応、免税対応、Wi-Fi 整備、洋式トイレ整備、多言語整備、外国語研修開催、ダイバーシティ対応、マナー啓発、マーケティング推進、災害対応、その他
- 助成金額 事業経費の2分の1以内で1事業20万円
※複数事業を行う場合は40万円まで可
- 助成対象社数 第1期 85社、第2期 48社 計133社



(15) 旅館活性化支援事業（京都市委託・補助事業）

和の文化を体感することができる我が国固有の宿泊施設である「旅館」について、更なる集客、活性化を図るべく、PR動画の海外発信強化や経営向上セミナーの開催、若手従業員向けの研修会を実施した。さらに、海外（ロンドン、バルセロナ）において旅館に特化した商談会を開催し、旅館の魅力を発信した。

- 旅館経営向上セミナー 2019年8月 テーマ：食のバリアフリー
2020年1月 テーマ：外国人材活用
- 歴史文化体験研修 2019年9月～11月
茶道・華道・間香・着付け 計10回



(16) ラグビーワールドカップおもてなしキャンペーン（京都市補助事業）

ラグビーワールドカップ日本大会の開催を機に、インバウンド対応の飲食店に「Tourist Friendly Restaurant」ステッカーを貼付するとともに、割引等を提供する同飲食店及び免税店の情報を特設サイトで発信した。

- ラグビー開催期間 2019年9月20日～11月2日（44日間）
- 当キャンペーン期間 2019年8月20日～11月30日（103日間）

3 広域プロモーション事業

(1) 宇治茶プレミアムブランド化事業（お茶の京都 DMO 委託事業）

京都府と山城地域全市町村等により設立された『お茶の京都 DMO』からの委託事業として、宇治茶産業の振興を目的とした、宇治茶のプレミアムブランド化（高付加価値化）に取り組んだ。

① OECD 日本政府代表部大使公邸ガーデンパーティでの宇治茶プロモーション

2019年6月、OECD 事務総長や関係機関の長、各国 OECD 大使等を招き恒例で実施しているガーデンパーティにおいて、出席者に宇治茶（冷玉露）の提供や、茶葉の展示等により、宇治茶の魅力を発信し、その認知度を高めた。



宇治茶コーナーで冷玉露を楽しむ参加者@大使公邸



宇治茶のパフレット・茶葉の展示 @大使公邸

② 海外プロモーションの実施

2019年10月、フランス・パリにおいて、高級レストランのシェフやパリの旅行関連事業者・ジャーナリスト、一般パリ市民を対象に宇治茶の価値と魅力を理解していただく取組を展開し、プレミアムな宇治茶を発信した。

・シェフ向け宇治茶ワークショップ

和食レストランを会場に、パリの高級レストランのシェフやバイヤーを対象として、宇治茶を使ったメニューの創作につなげてもらえるよう、宇治抹茶、宇治玉露の淹れ方デモンストレーションと試飲を実施し、最高級の茶の味や香りを体験していただき、宇治茶の認知拡大に努めた。



シェフ向けワークショップ@和食レストラン YEN

・プレミアム茶会「ユネスコ本部」

宇治茶産地への旅行商品造成のきっかけとなるよう、ユネスコ本部内のレストランを会場に、フランスの観光事業者やジャーナリスト等に宇治玉露と宇治抹茶を振る舞い、味や香りなど宇治茶の魅力を体験していただいた。（関西広域連合が実施する観光セミナー及び交流レセプションと併せて実施）

また、パリ市内に事務所を持つ旅行事業者を個別に訪問し、宇治茶産地への旅行商品のセールスを行った。



プレミアム茶会での宇治茶振舞い@ユネスコ本部



西脇京都府知事が激励に@ユネスコ本部

・宇治茶プレミアム企画展

日本文化に関心のあるパリ市民に向け、パリ日本文化会館において、茶葉や宇治茶に関する道具の展示や資料動画の放映、宇治玉露の淹れ方デモンストレーションと試飲を実施し、宇治茶の味や文化的価値を理解いただける方々の裾野の拡大を図った。（関西広域連合が実施する観光プロモーション事業（芸舞妓による舞の披露等）と併せて実施）



茶葉の展示と玉露体験@パリ日本文化館



美味しさに話も弾む玉露体験 @パリ日本文化館

・今後の事業展開についての意見交換

これまでの取組を踏まえた今後の事業展開について検討するため、3年前にパリで立ち上げた宇治茶愛好組織「Association de thé UJI」のメンバーで元エルメス本社副社長の齋藤峰明氏を迎えて、宇治茶伝道師及び京都府等の担当者が意見交換を行い、齋藤氏から、環境問題や健康についてのパリ市民の考え方の傾向などを踏まえたアドバイスを得た。



宇治茶アソシエーション齋藤峰明氏との意見交換会

Ⅲ その他の事業（公益目的事業）

1 会報誌「京都文化交流コンベンションビューロー通信」の発行

- ア 仕様：A4回版、4頁（オールカラー）
- イ 作成部数：1,000部
- ウ 発行回数：年4回（4月、7月、10月、1月）
- エ 配布先：賛助会員・関係団体 ほか

2 関係団体との連携等

（1）「京都・花灯路」・「京の七夕」への参画

関係団体と連携し、「京都・花灯路」や「京の七夕」へ主催者団体や実行委員会の一員として参画し、地元京都の観光振興に取り組んだ。

①嵐山花灯路

令和元年12月13日(金)～22日(日)
来場者数：100万3千人（今回15回目の開催）

※東山花灯路（令和2年3月6日(金)～15日(日)）は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

②京の七夕

令和元年8月1日(木)～31日(土)
来場者数：59万5千人（今回10回目の開催）

（2）時代祭におけるメッセージ発信

10月26日(土)、「1300年に向けて・いつも新しい古都」と表記した横断幕を持ち、行列の先頭役を担った。行進者は賛助会員から募集し、その協力を得た。

3 ホームページの内容充実等

文化交流事業の紹介や各種サービスの活用を促進するため、ホームページを随時更新し、発信を行った。

IV 共益・収益事業

1 賛助会員制度の運営

(1) 新規勧誘の促進

平成24年度から5年連続で大幅に賛助会員を増加させ、23年度末の356件から、28年度末には629件（1.8倍）まで拡大させてきた。

しかし、28・29年度でインバウンド部門を市観光協会へ移管した影響が大きく、その後、MICEを中心により一層加入促進に努めているが、元年度は入会より退会が若干上回り、微減した。

ア. 新規加入会員（24社24口）

会 員 名
株式会社乃村工藝社
株式会社京王プレリアホテル京都
三井不動産リゾートマネジメント株式会社（京都二条ホテルプロジェクト開業準備室）
株式会社JR西日本ヴィアイン（ヴィアイン京都駅八条口）
カリグラフィー京都 知ふみ書道
株式会社エイチ・アイ・エス
クロスホテル京都
株式会社ジュネイ（THE JUNEI HOTEL）
アンゴホテルズ株式会社
ホテルグラッドワン京都七条
株式会社美好園
ホテルグラッドワン京都四条大宮
ni ten ichi ryu
オリエンタルホテル京都ギャラリー
株式会社アドストーリー
株式会社プラニ
株式会社ヒト・コミュニケーションズ京都支店
株式会社七彩
大慈院
株式会社 DESIGN WORKS ANCIENT
京料理 箔
株式会社 アール工芸印刷社
アーバンホテル京都四条プレミア
株式会社ジェイ・リンクス

イ. 退会会員（25社25口）

会 員 名
Ami Kyoto
寝屋川バス株式会社
ルビノ京都堀川
一般社団法人里山デザイン

東京海上日動火災保険株式会社
(有)丸益 西村屋
アサヒビール(株)京滋統括支社
(株)京都西川
(株)シーズ
(株)クラウディアコスチュームサービス (アイネスヴィラノッツェ宝ヶ池)
(株)プレスハウス
ホテルアンテルーム京都 (USD株式会社)
一般社団法人京都ハラルネットワーク
京都カルチャーネットワーク
グーグル合同会社
(株)ビジョンエース
(株)ディー・メイクス
(株)正庵
ROKUSISUI KYOTO OKAZAKI
(株)サッポロドラッグストア
(株)弥栄
着物レンタル 華こまち
(一社) 関西ムスリムインバウンド推進協議会
Kプロディース(株)
(株)日の出興産

<賛助会員数の推移>

年度別	会員数	□数
平成20年度末	264	384
平成21年度末	257	374
平成22年度末	255	367
平成23年度末	244	356
平成24年度末	289	507
平成25年度末	297	517
平成26年度末	337	562
平成27年度末	370	601
平成28年度末	398	629
平成29年度末	396	608
平成30年度末	385	591
令和元年度末	383	587

(2) 「会員の集い」の開催

賛助会員間の情報交換・相互のネットワーク強化を目的として毎年開催しているが、元年度は、新型コロナウイルス感染症のため、やむなく中止とした。

2 京都迎賓館記念品の販売

京都迎賓館の通年公開に併せ、京都迎賓館での記念品の販売を実施するとともに、京都観光案内ブースの運営を行っている。

なお、本年2月末からの新型コロナウイルス感染症のため、京都迎賓館の一般公開が一部休止となり、記念品販売額が大きく急減した。

V 管理運営

1 理事会の開催

(1) 第17回理事会

- ア 日時 令和元年6月7日（金） 午後3時～4時
イ 会場 からすま京都ホテル 瑞雲の間
ウ 出席者 理事9名、監事2名
エ 議事 第1号議案 理事、監事の選任を評議員会に諮る件
第2号議案 平成30年度事業報告に関する件
第3号議案 平成30年度決算に関する件
第4号議案 令和元年度収支予算の補正に関する件
第5号議案 評議員会の開催に関する件

(2) 第18回理事会

- ア 日時 令和2年3月2日（月） 午後1時30分～2時30分
イ 会場 からすま京都ホテル 双舞の間
ウ 出席者 理事14名、監事1名
エ 議事 第1号議案 令和2年度事業計画に関する件
第2号議案 平成2年度収支予算に関する件
第3号議案 令和元年度収支予算の補正に関する件
第4号議案 評議員会の開催に関する件



第18回理事会

2 評議員会の開催

(1) 第17回評議員会

- ア 日時 令和元年6月26日（水） 午後2時～3時
イ 会場 ANAクラウンプラザホテル京都 嵯峨の間
ウ 出席者 評議員7名、専務理事1名、監事2名

- 工 議 事 第1号議案 評議員の選任に関する件
 第2号議案 評議員会長、評議員副会長に関する件
 第3号議案 理事、監事の選任に関する件
 第4号議案 平成30年事業報告に関する件
 第5号議案 平成30年度決算に関する件
 第6号議案 令和元年度収支予算の補正に関する件

(2) 第18回評議員会

- ア 日 時 令和2年3月24日(火) 午後3時~4時
 イ 会 場 御所西京都平安ホテル 朱雀の間
 ウ 出席者 評議員6名、専務理事1名、監事1名
 工 議 事 第1号議案 令和2年度事業計画に関する件
 第2号議案 令和2年度収支予算に関する件
 第3号議案 令和元年度収支予算の補正に関する件



第17回評議員会

令和元年度事業報告には、定款第8条第1項2号に規定する附属明細書は「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないため、作成しない。

公益財団法人 京都文化交流コンベンションビューロー